

株式会社千葉銀行でのインターンシップ体験レポート

実習の内容

千葉銀行の役割について学ぶ、会社概要と銀行業務についてのグループワーク、札勘体験、ちばぎんのCSを学ぶ、銀行のシステムを学ぶ、新規口座作成体験、若手行員との座談会、営業店・本部の仕事を学ぶ、金融資料館を見学など。

実習で学んだこと

「常に考え自ら行動する」大切さを強く学ぶことができました。銀行は形のない商品を扱っているため、人によって左右されるということを藍場さんの貴重なお話を聞いて知り、千葉銀行はお客様への心がけにより力を入れて信頼を高く受けている理由を実感することができました。入社して間もない頃、自分で考える事が少なく、分からない事を先輩行員の方に聞いて言われた事をお客様に対応するという体験談を伺いました。その際に、何度も同じことを繰り返し聞いてしまうことからお客様を待たせてしまうという失敗に繋がり、自分で考え行動する大切さを、営業業務を通して学んだと教えて頂きました。普段授業の中で先生方によく考え行動することを心がけなさいとご指導頂き、社会に出たときにこういう場面で繋がってくるのだと改めて学ぶことができました。銀行の財産は人ということを知り、私もそのような人材になりたいと改めて強く決意することができました。

実習を終えて

私は、このインターンシップでの5日間、様々な貴重なお話や体験をさせて頂き、今まで知らなかった銀行の役割と千葉銀行で働く人々の姿を学び、知ることができました。実際の体験で、私は札勘体験がとても印象強く、大量の札束の枚数を正確に数えることが意外と難しくコツを掴むまで大変でした。お客様へのちばぎん独自のマナーであるCSも、一歩先まで目を配り、快く迎えられるようにコミュニケーションをよくとったり、設備を整えたりと普段の学校生活では学べないことを、体験を通してよく学べたので良い経験となりました。また、インターンシップを共に過ごした他大学の学生とのグループワークや交流から自分とは違う価値観や意見について学ぶことができたので、自身の考えの幅を広げることができました。この5日間で学んだことを日々実践し、就職活動が始まる3月までに学力や人間力をさらに向上させ、就職活動に全力で挑めるよう精進していきたいと強く決意しています。

2014年8月

メディアコミュニケーション学部情報文化学科3年 小泉沙織